

会議録

令和4年1月26日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和3年度第6回定例会
開催日時	令和3年11月24日(水) 9時30分から10時45分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、海老澤裕恵、石川健、青木美紀子、渡部國夫、小沼純子、高井正 職員：高田館長、國府方館長補佐(田無分館長)、山本事業係長、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、市川事業係主査、星野事業係主査
欠席者	三沢英俊 中嶋太、荒井容子
議題	1 主催事業について (1) 令和3年度公民館主催事業報告について(資料1) (2) 令和3年度公民館主催事業計画について(資料2) (3) 令和3年度「まちなか先生」(学校出前講座)について(資料3) 2 審議事項 (1) 令和3年度第3回定例会会議録(案)について(資料4) (2) 令和3年度第4回定例会会議録(案)について (3) 令和3年度第5回定例会会議録(案)について (4) 令和2年度公民館事業評価について 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和3年度東京都公民館連絡協議会第1回研修会について (2) 第7回定例会の開催について
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和3年度公民館主催事業報告書 資料2 令和3年度公民館主催事業計画書 資料3 令和3年度「まちなか先生」(学校出前講座)関係資料 資料4 令和3年度第3回定例会会議録(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
会議内容	1 主催事業について (1) 令和3年度公民館主催事業報告 ○A委員 充実した内容だったので、報告書を読んだ感想を述べたい。まず、緊急事態宣言下に事業が実施されたことを評価したい。特に、ひきこもりや認知症、多文化共生への理解を深める講座など、地域が抱える重い課題に切り込んだ学習を行っていることに感銘を受けた。コロナ禍で閉塞感が広がる中、最も悩んでいると思われる方たちへの講座が開催されている。受講者の感

想を読むと、心動かされた方が多いことがわかる。次に、保育付き講座が2つ実施されているが、子育て中の人のための講座「ココロとカラダのパワーアップ講座」（谷戸）について。参加者が少なく自主サークル化が難しい中、既存のサークルへ加入したことが報告されているが、どのような働きかけを行ったのか、伺いたい。また、子育て世代に限定せず、障がい者を含め幅広い世代が参加する講座に保育を付けている。谷戸公民館で小学生対象の講座が2つ実施されているが、感想を読むと子どもたちが感動したことがわかる。西東京いこいの森公園を会場としており、来年度の実施も検討してほしい。

教育講座「ハートにプラス！子どもの力を引き出す関わり方」（谷戸）に参加したが、「西東京市子ども条例」を知らない方も多く、条例の周知が課題だと感じた。

○分館長(谷戸)

子育て中の人のための講座（谷戸）は緊急事態宣言下の難しい時期での実施だったため、参加者が少なかったが、講座終了後の話し合いの中で、担当職員の仲立ちにより、昨年度の講座から発足したサークルへの加入が決まった。

○B委員

現代的課題を考える講座「地域から“孤立”をなくすヒント4～ひきこもり支援の可能性を開く～」(田無)について、質問したい。オープンダイアログ体験とあるが、どういうものなのか。また、その手法をとる意味は何か。次に保育付き講座「めざせ心のバリアフリー」(芝久保)について、トーンチャイムの良さを伺いたい。子ども向け自然観察講座「石の話を聞いてみよう！」(谷戸)について、石神井川の河原の石も良い素材なので、活用してはどうか。

○分館長(田無)

オープンダイアログは、アドバイスはしない、意見を否定しないということを基本としながら、自分の本音に気づいていく、開かれた対話という手法。

○B委員

現代的課題を考える講座(田無)について、(ひきこもりの)本人の参加もあったのか。西東京市にひきこもりの子どもを抱える親の会はあるか。

○分館長(田無)

本人も参加しているが、家族、関係者が大半を占めている。

○公民館長

市内には、ひきこもりの子どもを抱える親の会、不登校の子を抱える親の会が存在する。

○分館長(芝久保)

トーンチャイムの音色が澄んでいて、きれいだという感想が多く聞かれた。澄んだ音色のトーンチャイムを用いて、障がいの有無にかかわらず、みんなで一つの曲を作り上げることに取り組んだ講座だった。

○公民館長

トーンチャイムは障がい者学級でも取り上げている。楽譜が読めなくても、特別なテクニックがなくても、みんなで演奏できることが魅力。

○B委員

トーンチャイムでは、一人が一つの音を担当して、みんなで一つの曲を演奏する。それもよいが、子どもたちには好きな楽器で、自分の好きな音を出すという体験もしてほしい。

○C委員

不登校がひきこもりに繋がるケースもある。現代的課題を考える講座(田無)については、担当職員による実践報告が『月刊社会教育2021年11月号』(旬報社発行)に掲載されていることを紹介しておく。

○C委員

アンケートには、各回ごとに記入するものと、講座の最終日に全体を振り返って記入するものの二通りが見受けられる。アンケートの取り方の基本と、その意図があれば伺いたい。

○公民館長

基本的にはすべての講座で共通項目についてアンケートをとっている。一般的には、講座の最後の回に、共通項目と感想等についてアンケートをとっている。講座によっては、各回アンケートをとって、講座運営に活かしている。

(2) 令和3年度公民館主催事業計画

○A委員

計画書の備考欄に「感染状況に応じて定員を緩和する」と書いてあるが、具体的に緩和する人数を考えているのか。

○公民館長

現在、施設の元定員の約7割で設定している。今年10月に出された全国公民館連合会の指針に準拠して緩和する予定。部屋ごとに設定するが、元の最大値には当面戻らないだろう。新型コロナウイルス感染状況が収束に向かえば、講座を含めより多くの方が利用できるような設定を考えていく。

(3) 令和3年度「まちなか先生」(学校出前講座)について

○公民館長

市長部局で行っている事業に出前講座があるので、本事業の名称を「まちなか先生」とすることになった。地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもの成長を支える取り組みとして、地域学校協働活動につながると考えている。社会教育課、図書館、公民館が教育指導課からも助言をいただきながら、教育委員会として積極的に取り組む事業として位置付けている。公民館は、多様なネットワークを活用して、市内で活動している個人や市民団体と協働で本事業をすすめている。今年度、予定されている講座、実施した講座は資料3のとおり。講座はいずれも地域理解につながる内容で、講師の話聞くだけでなく、グループワークをしたり、グループに分かれて感想を伝え合って共有したりするなど、学びを深める時間をもっている。その際には、市民のボランティアスタッフに協力していただいている。公民館としては、団体が日頃学んでいることを還元する場ととらえている。講師だけでなく市民のボランティアスタッフなど、多くの方と一緒にすすめていくことで、公民館と学校と地域住民が連携する場になることを期待している。

まちなか先生以外にも、公民館では、子どもの居場所の充実を目指して、この数年、子ども対象の事業にも力を入れている。今までは、主に小学生を対象として、夏休みや冬休みを中心に単発の事業を数多く実施していたが、今年度は、連続講座や中高生を対象とした連続講座にも取り組んでいる。また、父親も参加できるような親子対象事業や地域の自然に触れながら、環境学習につながる事業にも取り組んでいる。

○D委員

今日は午前開催だが、委員にとって参加しやすい時間帯であるか、再度検討してほしい。「まちなか先生」の実施については、講座を複数実施している学校もあれば実施していない学校もあるなど偏りがあるが、学校の希望に基づいて実施しているのか。

○公民館長

会議の開催時間については再検討する。「まちなか先生」は1校1講座が原則だが、複数講座の希望があれば考慮している。今年度は、新型コロナウイルスの関係で、中学校は状況が厳しかったようだ。

○C委員

意見として述べたい。市の各課が実施する出前講座は学校も対象となるが、それと「まちなか先生」はどのように関係していくのか。「まちなか先生」では、地域団体や公民館利用団体と連携して市民が活躍していくということがないと、なかなか地域学校協働活動につながらないが、そこをどのように設計していくのか。また、市民が講師となる場合、講師としてのトレーニングも必要となる。これらのことについての整理が必要と考える。

2 審議事項

(1) 令和3年度第3回定例会会議録(案)について(資料4)

承認

(2) 令和3年度第4回定例会会議録(案)について

(3) 令和3年度第5回定例会会議録(案)について

各自持ち帰り内容の確認をし、修正等があれば一週間以内に公民館に連絡する。

(4) 令和2年度公民館事業評価について

令和2年度公民館事業評価の二次評価案の文言修正について意見交換。次回、修正後の案を審議する。附帯意見についても検討。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

令和3年度第4回西東京市議会臨時会について報告。当議会では、令和3年度一般会計補正予算第6号が審議され、議決された。公民館は非接触型検温器の予算を計上していた。今後、田無公民館を除く5館の入口に、顔を検温部位とするスタンド式の非接触型検温器を設置する予定。

(2) 公民館だより編集室報告

○担当委員

11月8日(水)午後、柳沢公民館で編集室会議を開催。12月1日号1面掲載の講座報告の内容確認、2月1日号一面特集、歴史散歩コラム等について論議した。

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

○担当委員

第8回委員部会運営委員会について報告。12月15日に都公連委員部会第1回研修会を開催する。第58回東京都公民館研究大会の委員部会担当の課題別集会でひばりが丘フェスティバルの事例発表を行う。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和3年度東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会について

テーマ：公民館を育てる仕組み、支える仕組みを考えてみよう

日時：令和3年12月15日(水)午後2時～4時

場所：日野市中央公民館

講師：菅沼七三雄氏(前小金井市公民館運営審議会委員)

(2) 第7回定例会の開催について

日時：令和3年12月15日(水)午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室